

ほんまもん王国 王様推奨 南紀エリア おすすめツアーで行く

難行苦行・・・感謝、合掌。熊野古道中辺路横断ウォーク

王様推奨 南紀エリアお勧めツアーTOP

見どころ&学びのポイント

スケジュール <旅行金額の目安 約8,000円(航空運賃、宿泊代含まず)>
公共交通機関(バス・電車・飛行機)の時刻は事前に必ずご確認ください。

(プランの紹介)

1日目 (約13km 5.5時間歩行)

09:05	東京(羽田空港)発 JAL1381便
10:15	南紀白浜空港着 エアポートライナー熊野の森(予約制乗合タクシー)国道311を中辺路方面へ (最小催行人数 4名以上:問い合わせ:明光タクシーTEL:0739-42-2727)
11:25	滝尻王子着 古道ウォーク(滝尻～近露)スタート *熊野古道ウォークレポート[3]・[4] *歩行距離 約13km(所要時間 約5.5時間) *昼食は、仕出し屋「前田」へ予約しよう。TEL:0739-64-0228
17:45	民宿到着 田辺市中辺路観光協会

2日目 (約26.0km 9時間歩行)

07:00	民宿出発 古道ウォーク(近露～熊野本宮)スタート *熊野古道ウォークレポート[5]・[6] *歩行距離 約26km(所要時間 約9時間) *昼食は、前泊の宿で調達(要予約)。
17:00	熊野本宮大社着～合掌(神職の社頭説明も依頼可能)
17:30	同大社前には宿泊する宿の車がお迎え(要事前予約) or タクシー
18:00	熊野本宮温泉郷 湯の峰温泉で宿泊 (宿のリスト)

3日目 (約3.5km 1.5時間歩行)

09:00	旅館出発 古道ウォーク(湯の峰～熊野本宮)スタート
11:00	熊野本宮大社着(ウォーク完結・お礼参り) *後は「足湯・からす屋」疲れた足を休めよう大社前 *昼食は大社鳥居横の「珍重庵」で。郷土料理「めはりずし」 *時間があれば、川の世界遺産「熊野川」(大斎原前)を散策。
13:15	熊野本宮大社発 エアポートライナー熊野の森 白浜空港へ
15:35	南紀白浜空発 JAL1384便(季節により運行時間・便等が変わります)
16:40	東京(羽田空港)着 ご自宅へ



平成16年夏、わが国初の「文化的景観」というカテゴリーで世界文化遺産に登録された熊野古道。その遺産は正に、熊野の大自然と、古人が長い歴史の中で創り上げた、共同合作の宝物です。熊野本宮は、すべての熊野古道が交わる巡礼道結びの地。その核心地域である中辺路のクライマックスルートを、気を込めて歩いてみませんか？

汗をかき・・・一歩一歩大地を踏みしめ・・・樹々が生い茂る大自然から生命観や宇宙観を感じ・・・ゴールではすべてに感謝し素直な気持ちで合掌・・・。

きっと現在を生きる我々にとって、非日常と非現実が入り混じり、自分を再発見できる「旅」となることでしょう。

さぁ！単なる登山やハイキングではない、少しアカデミックな「古道巡礼」の始まりです・・・。

お疲れ様！3日で約45km、中辺路横断ウォーク完結です。
熊野のパワーで身も心も、きっと蘇ったことでしょう。合掌・・・。



世界遺産「熊野古道」中辺路ルートと「王子社」

京の都から見て真南に位置する熊野は、まさに極楽浄土。古の人々は往復約1ヶ月もかけて、蘇りを願い、祈りの地「熊野」を目指しました。その道中数キロ間隔に祀られているのが「王子社」。これは熊野の御子神をお祭りしたもので、道標の役目も果たしながら、当時は貴族たちが歌会なども催していたそうです。このほか、目的地に到達することができず、道中亡くなってしまった人々を供養する「行倒れの地藏さん」なども点在しています。



熊野古道結びの地「熊野本宮大社」

中辺路・小辺路・大峯奥駈道・熊野川など、世界遺産に登録された熊野古道や修験道が集結する熊野本宮大社。社殿は国の重要文化財でユネスコの世界遺産にも登録されている貴重な歴史的建造物。今もなお神仏習合の聖地です。熊野古道中辺路ルートを歩けば、この地がゴール。厳格な中にも母のような優しさのある熊野の神に、手を合わせましょう。合掌…。



チェックしよう▶ 熊野本宮観光協会

熊野本宮大社「大斎原」おおゆのはら

明治22年の大水害まで熊野本宮大社が鎮座していたのが、この地。熊野川と音無川の間にある中州に、ひっそりと石祠が祀られています。古くから蘇りの地として信仰を集めた熊野。今もその精神生き続け、多くの参詣者が集まります。

有名な歌手「都はるみさん」も、芸能界に復帰する際、蘇りを祈ってこの大斎原で奉納コンサートを行いました。



熊野本宮温泉郷「湯の峰温泉」

約1,800年前、第十三代成務天皇の御代に熊野の国造(くにのみやつこ)大阿刀足尼(おおあとのすくね)によって発見されたと伝えられる日本最古の温泉が湯の峰温泉。説教節でも有名な「小栗判官」の蘇生伝説が今も語り継がれ、熊野信仰と深いつながりを持つ、歴史ある温泉です。

92度の温泉が地中深くから自噴する贅沢な温泉。湯煙の中、浴衣姿でノスタルジックな風景を満喫しに出かけましょう。旅の疲れを癒す最高のロケーションと情緒ある温泉。

チェックしよう▶ 熊野観光協会 湯の峰温泉

